

10/6.9.72

トマホーク取得 1年前倒し

木原稔防衛相は4日

(日本時間5日未明)、

米ワシントン近郊の国防
総省でオースティン国防
長官と会談しました。憲
法違反の敵基地攻撃能力
として使われる米国製長
距離巡航ミサイル「トマ
ホーク」について、当初
予定より1年前倒しで2
025年度から取得する
ことで一致しました。
日本政府はこれまで最
新鋭「ブロック5」のト

日米防衛相会談

マホーク計400発を26

す。27年度に米国から取得
する予定でした。これを
25〜27年度に早める一
方、購入するトマホーク
を1世代前の「ブロック
4」200発、「ブロック
5」200発の計400
発に変更します。23年度
予算で「ブロック5」4
00発の購入費として2
331億円が計上されて
おり、今回の変更で経費
が変動するかは不明で

日本より早くトマホー

クの売却が承認されたの
がオーストラリアです。
米政府は今年3月、オー
ストリアへの売却を承
認し、「ブロック5」20
0発と「ブロック4」20
0発で、8億9500万が
（約1330億円）を予
定しています。オースト
リアに先行して納入す
るため、日本が後回しに
された可能性もありま

す。

オースティン氏は会談
冒頭、反撃能力(敵基地
攻撃能力)や軍事費倍増
について「日本政府の大
胆な決断を支持する」と
表明しました。

両氏は、沖縄県名護市
辺野古の新基地建設計画
について、「着実な進展
のため緊密に協力する」
と表明。中国やロシアで
開発が進む極超音速滑空
弾を迎撃する「GPI
(滑空段階迎撃用誘導
弾)」の共同開発につい
て、協力を深めることを
確認しました。